

平成 27 年台風 18 号による鹿沼市の斜面崩壊・河岸侵食（速報）

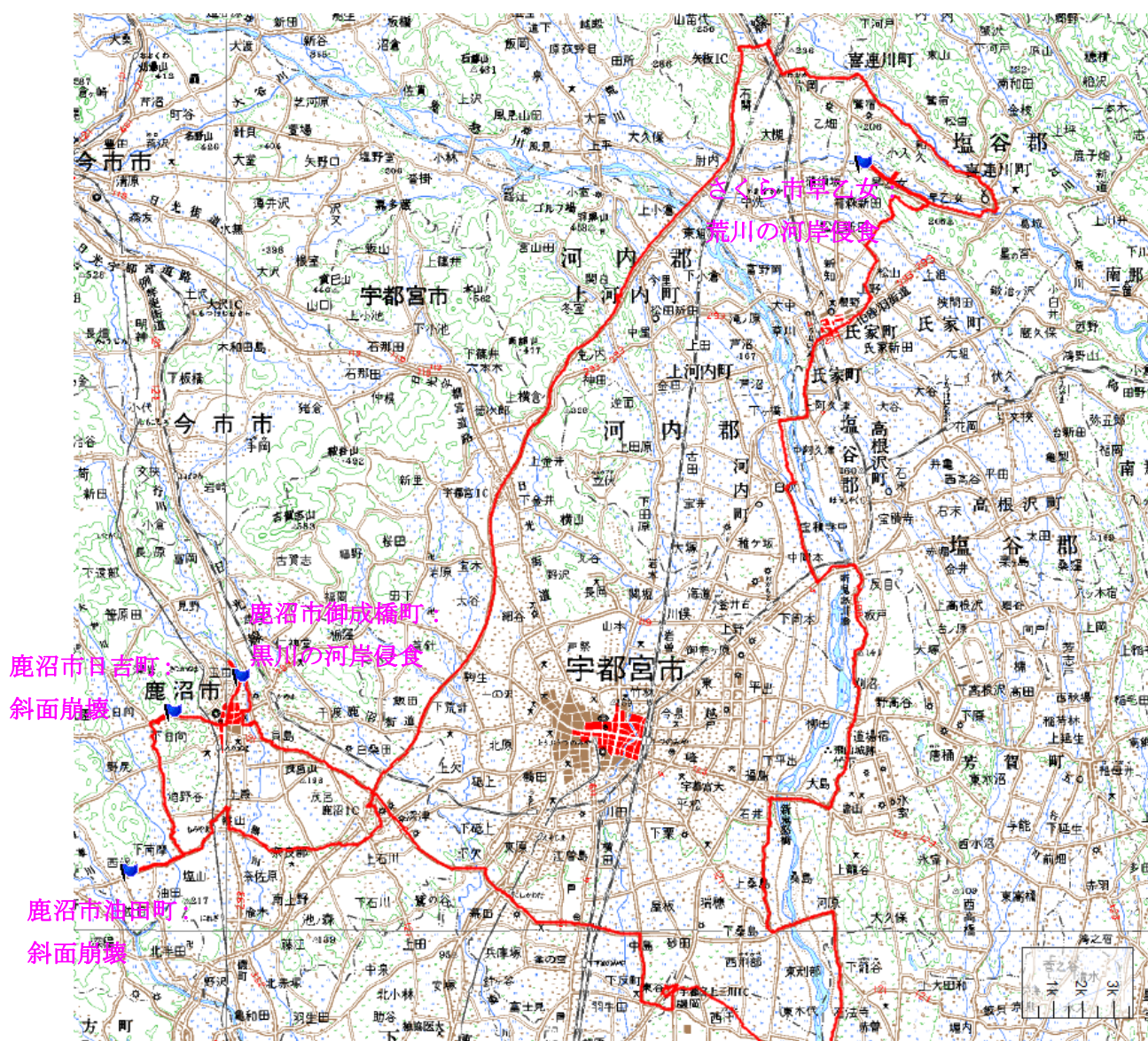
現地調査日－2015 年 9 月 11 日

調査担当－鈴木真一・若月強・加藤亮平・酒井将也（水・土砂ユニット）

崔青林・磯野猛・佐野浩彬・佐藤良太（災害リスクユニット）

1. はじめに

平成 27 年台風 18 号に伴う豪雨によって、大規模洪水や浸水，斜面崩壊，河岸侵食など様々な被害が発生した．防災科学技術研究所は，災害翌日の 9 月 11 日に鹿沼市とさくら市で被害状況調査を実施した（下図）．その結果，いくつかの斜面崩壊と河岸侵食が確認できたので報告する．なお，災害直後であり救助活動等が進行中であるため，災害現場での詳細な測量や聞き取りは行わなかった．また，調査ルートには浸水痕はほとんど確認できなかった．



図．調査ルートと位置図

2. 斜面崩壊

(1) 鹿沼市日吉町

10 日午前 3 時 50 分ごろ、栃木県鹿沼市日吉町で住宅の裏山の斜面が崩れ、住宅 3 棟に土砂が流入し（朝日新聞デジタル）、死者 1 名、重傷 1 名の被害となった。

崩壊形状

最大崩壊深約 5m、崩壊幅が約 10m、崩壊長が約 15m、崩壊面の勾配が約 25°（すべて目視による）



崩土とすべり面の様子

わずかにパミス（軽石）を含むローム質土。すべり面には岩盤が見られない。



その他

付近に 2 カ所の崩壊が確認できた。右写真では、小崩壊の土砂が民家に流入した。



(2) 鹿沼市油田町南摩小学校

小学校裏の斜面が崩れ、校舎の窓ガラスを突き破って土砂が流入した。



崩壊発生日時

小学校の関係者は9月9日 21時30分頃、校務を終えて帰宅した。隣接するお寺の方が、ガスの配管が切れたと思われるガス漏れの臭いと、大きな音を聞いたため 22:30 頃通報した。以上より、崩壊発生日時は 21 時 30 分から 22 時 30 分までの間と考えられる。

崩壊形状

崩壊深約 1m, 崩壊幅約 7m, 崩壊長が約 30m, 崩壊面の勾配が約 35~40° (全て目視) の表層崩壊である。

崩土とすべり面の様子

ローム質土と堆積岩（ジュラ系足尾帯）の風化土からなる。すべり面の一部に岩盤が露出している。



その他

小学校の関係者によると、斜面を切り土して用地を広げた場所に校舎が建てられたようである。



3. 河岸侵食

(1) 鹿沼市御成橋町(黒川)

黒川の河岸侵食により、民家など3軒が傾くなどの被害を受けた。

発生日時

被害を受けた家の方の話「9月11日0時頃、増水が酷くなり避難のため家を離れたが、付近の人から2時頃崩れたと聞いた。」



(2)さくら市早乙女(荒川)

荒川の河岸侵食により，堤防上の歩道が流された．

発生日時

付近の方によると，9月10日 10時から12時の間に，河岸が徐々に削られたようである．この方は，9日22時頃に橋にある防災無線を通して避難指示があったため，9日22時30分頃避難した．

